

ハイパービーム[®]VE[®] —NSYP[®]345B

NSYP[®]345Bは、従来鋼（SN490B）に対して、設計基準強度F値を345N/mm²まで高めて高降伏点化を図り、かつ引張強さは従来鋼と同等の490N/mm²クラスとしたハイパービーム[®]です（認定番号：MSTL-0312）。

従来鋼（SN490B）に比べて設計基準強度F値が高いので、鋼重削減が期待できます。

特長

1. F値アップで鋼重削減
設計基準強度F値をSN490Bよりも20N/mm²高めて、345N/mm²とした490N級のハイパービーム[®]です。
鋼材および溶接部の材料の基準強度はF値の1.1倍以下とすることができます。
2. SN材と同等の高い耐震性・溶接性
SN490Bと降伏点の上下限值が異なる以外は、同じ化学成分、機械的性質です。



機械的性質

鋼種	板厚	引張試験					衝撃特性		
		降伏点 または耐力 [N/mm ²]	引張強さ [N/mm ²]	降伏比 [%]	伸び		試験 温度 [°C]	シャルピー吸収 エネルギー [J]	試験片
					試験片	[%]			
NSYP [®] 345B	12≦t≦16	345~465	490~610	≦80	1A号	17≦	0	27≦	Vノッチ 圧延方向
	21≦								
SN490B	12≦t≦16	325~445	490~610	≦80	1A号	17≦	0	27≦	Vノッチ 圧延方向
	21≦								

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。

